

# かんきょうを 考えるコーナー

環境課

エコライフ豆知識③

## 二酸化炭素排出量の約30%はガソリン・軽油から

家庭からの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を燃料種別に見た場合、ガソリンや軽油によるものが約30%と大きな割合を占めています。通勤や買い物など、生活する上で自動車の利用が必要不可欠になっている人も、日頃からアイドリングストップなどのエコドライブを心がけることで、CO<sub>2</sub>の排出量を減らすことができます。また、運転中以外にも「トランクなどに余分な荷物を積んだままにしない」、「タイヤの空気圧を適正に保つ」などの取り組みによって燃費は良くなります。燃費が良くなれば、CO<sub>2</sub>だけでなく、ガソリン代も減って、家計も助かります。

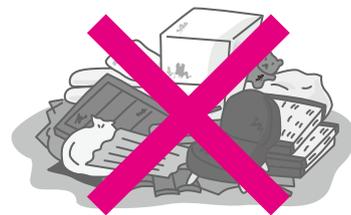
## 災害時のごみ出しについて

大規模な災害が発生した場合は、災害の規模に応じて仮置場を設置します。震災の場合、腐敗性を有しないごみは、体制が整うまで家庭内保管をお願いします。

### 仮置場搬入時の注意事項

1. 車に積込む前に、各ご家庭でしっかり分別する。
2. 町指定の仮置場以外には持って行かない。指定された時間内に搬入する。
3. 仮置場内では、係員に従い種類ごとに指定した場所に分別して下ろす。

厳しい状況の中であっても、一人ひとりが分別ルールを守ることで災害復旧が早く進み、処理費用も軽減することができますのでご協力願います。



## 子猫を捨てるのは犯罪です

むやみに動物を遺棄したり、殺したり、傷つけたり、故意に水やエサを与えないなどの行為は「動物の愛護および管理に関する法律」により100万円以下の罰金などと、厳しく処罰されます。「本当に飼っても大丈夫か?」「病気の予防や治療に必要な費用が捻出できるか?」「終生、その動物の面倒が見られるか?」など、飼う前に今一度考えていただくとともに新たな子猫ができて困るのであれば不妊・去勢手術をしましょう。飼い主不明な猫(野良猫)の増加を抑制することにより、町民の快適な生活環境を保持することを目的として、人と猫が共生できる街づくりを推進するために、飼い主不明な猫の不妊手術費用の一部を補助しています。

### ○補助金額

- ・去勢手術(オス) 3,000円
- ・避妊手術(メス) 4,000円

その他、申請書などは環境課窓口・町ホームページにて受け取りができます。

## 野良猫への身勝手なエサやりは マナー違反です

近年、野良猫への無責任なエサやりによって、フン害や鳴き声、アレルギーなどの苦情が寄せられています。「かわいそうだから」という気持ちでエサをあげている方も多いと思いますが、猫は繁殖力が強く、1度に産まれる子猫はおおよそ4~8頭とされています。これ以上望まれない環境に生まれてくる猫を増やさないためにも、マナーを守りましょう。

エサを  
あげないで。

